

<発表資料>

- 社史・アーカイブ総合研究所 - 「サイド企画」で深みを加える その2

今回は、「サイド企画」7例のうち、前半の3例までを見てみました。今回は後半の4例について説明します。

4.OBや古い取引先はかけがえのない情報を持っていることがあります。今だからこそ話せることもあるでしょう。会社の動きに近い立場で、しかも角度を変えて見てきた長年の蓄積があります。会社の歴史のユニークな一面を語ってもらえたら、本文はより味わい深くなるでしょう。社員と同じ扱いで掲載することに抵抗を感じる方がいるようならば、コラムにする見せ方があります。

社史のサイド企画

5.初めての社史だと、「あれも書きたい、これも書きたい」と盛りだくさんの内容になりがちで、まとまりのない内容になってしまうことがあります。そのような事態を避けるため、分冊構成することがあります。例えば①オーソドックスな社史を役員経験者が書き、正当な歴史記録とする②社員メンバーが社内報のような賑やかな記念誌を企画し、多くの社員のコメントや顔写真が乗るようにする、といった具合です。

1. 記念対談
2. 社員座談会
3. 社員アンケート
4. OB・取引先コラム
5. 分冊方式
6. 漫画を取り入れる
7. 感想文募集

6.ある企業では、社史に歴史記録としての役割の他に、事業紹介の役割を持たせました。その業界は若い世代の採用育成が課題で、彼らへの説明に漫画を導入したのです。好評を得たそうで、後日、漫画部分だけを抜き刷りにして社史とは別の案内パンフにしたそうです。発想を柔らかくすると、社史はいろいろと使えます。

7.せっかくの社史をより多くの社員に読んでもらうため、社史の感想文を募集してみてもどうでしょうか。懸賞でも設けたら、より集まりやすくなるでしょう。



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目8-8 アクロス新川ビル 4F
TEL 03-6824-9113 FAX 03-6824-9110 ✉ info@shashi-archive.jp 担当：鈴木

<https://shashi-archive.jp/>

No.00041

2022年10月13日

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

- 組織情報 -



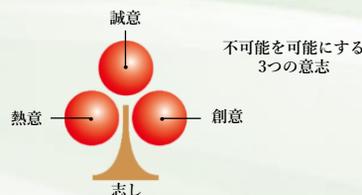
ビジネスのDNAを次世代に伝える
出版文化社

【代表者】
代表取締役社長 浅田厚志
【創立】
1984年2月6日
【資本金】
99,234,300円

【東京本部】
東京都中央区新川1-8-8
アクロス新川ビル4F
TEL：03-6823-6820（代）
【大阪本部】
大阪市中央区久太郎町3丁目4-30
船場グランドビル8F
TEL：06-4704-4700（代）
【名古屋支社】
名古屋市熱田区五本松町7-30
熱田メディアウイング3F
TEL：052-990-9090（代）

Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。
編集は自社内で一貫して行っています。
専門家＝アーキビストが常駐しています。
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute
代表者 小谷允志
設立 2019年10月1日
研究員数 10名（東京6名・大阪4名）